

家電製品協会の認定センター
資格制度で人材育成

家電製品協会の認定センター（西崎義信センター）は、業界の基盤となる人材育成を目指して2001年度に始めた資格制度「家電製品アドバイザー」と「家電製品エンジニア」を16年度に始めたスマートハウスのプロフェッショナル人材育成が目的の「スマートマスター」の企画運営を行っている。

表は家電製品アドバイザーと家電製品エンジニアの試験内容を示す。図はスマートマスターの資格に必要な知識を示している。資格認定試験は3月と9月に実施。業界ポーターとして、家電業界を取り巻く関連産業からの受験者も増加している。

20年3月の試験は新型コロナウイルス感染症防止のため実施直前に中止した。同年9月の認定試験から受験者の安全確保と安定した試験開催の観点で、CBT方式の試験導入を決め、9月7日から20日まで約1万人が受験した。従来は全国延べ約50の大会場で行われていた。

真のように隔離された環境。室内には平均10人程度の受験者しか入れない。受験指示もPC画面で行われ、試験官による口頭指示や会話は行われない。

今年3月に実施した第40回認定資格試験には約8000人が受験。家電製品アドバイザー、同エンジニア、スマートマスターの3資格に2451人が合格している。



西崎センター長



テストセンター内のパソコン

家電製品アドバイザー資格と同エンジニア資格の内容

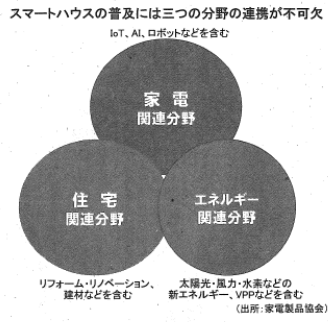
資格の区分	1.アドバイザー		2.エンジニア	
	1)AV情報家電	2)生活家電	1)AV情報家電	2)生活家電
試験科目	①商品知識・取扱	①商品知識・取扱	①基礎技術	①基礎技術
	②CS・関連法規(共通)		②応用技術	②応用技術

注)アドバイザー試験のCS・関連法規は両資格共通の試験
補足)総合資格とは、アドバイザー、エンジニア共に上記資格区分、1)、2)の両方を取得したものに付与される

「家電製品アドバイザー」「家電製品エンジニア」
「スマートマスター」全国統一認定試験実施
CBT方式導入し好評

型試験会場で実施してきたが、CBT方式はコンピュータを活用。全国280カ所以上の試験場（テストセンター）を使い、受験会場や受験日を選択できる。センター内は、受け付けと受験用のパソコン（PC）が配られた受験者の都合に合わせて受験が受けられる。試験会場は写真通り、3資格の価値を高ま

スマートマスター合格者は2663人。累計7003人が全国1152カ所の店舗やオフィスで、住まいと暮らしのスマート化を支援している。同資格は家の構造・性能、家電製品、住宅設備、エネルギーマネジメントの知識とICT分野への知見も求められる。西崎センター長は「新生活様式が定着しつつあり、他業種からの注目も高まっている」と期待する。



認定証 SMART MASTER
スマートマスター

文 付 20XX年11月01日
有効期限 20XX年10月31日

登録番号 第S160000001号

氏 名 家電 太郎

一般財団法人 家電製品協会
TEL. 03-6341-9600

認定証 Platinum
家電製品総合エンジニア

文 付 20XX年11月01日
有効期限 20XX年10月31日

登録番号 第E000000000P号

氏 名 家電 太郎

一般財団法人 家電製品協会
TEL. 03-6341-9600

認定証 Gold
家電製品アドバイザー

文 付 20XX年11月01日
有効期限 20XX年10月31日

登録番号 第A000000000P号

氏 名 家電 花子

一般財団法人 家電製品協会
TEL. 03-6341-9600

3資格の認定証として、西崎センター長は受験を呼び掛けている。